

SABO NEWS LETTER

第 7 号

【発行日】: 1998年12月17日

【発行】(社) 全国治水砂防協会

拝啓 市町村長 様

今年も11月15日おつり、恒例の予算時とつりだ。その前に
 12月11日、管工が望みだして、中3次補正が国会を通過し、管工
 のも、結果が佳しだしたと、思っています。砂防関係では約30%（対
 当部比）の額が決定されました、効果的な活用と安全の確保を願
 っています。中でも予算の図上で人命保全が、できることと、
 なるべく我々も頑張ります。

12月6日は長野県と新潟県の雪崩被害の土石流災害がさ
 りる2年を記念日です。14年の毎い、おとすに「工事の安全には安全を期
 す」とお誓いしてきました。土石流による被害を一日も早く死
 ないものです。工事の安全に關しては種々指導をしておりますが、今般
 安全対策のための研究会が、開かぬ。P1Pが発表してあります。
 我々、災害弱者の安全確保にも、全力をこめて対応していか
 せて。

12月21日からは予算編成作業に入ります。そのための指導も、ま
 ず、早く管工のとすに、とすに、検討していかせて。多分、手
 遅報として News letter が、お返しとすこととす。御期待下さい。
 今年の冬は雪が多いです。雪崩災害にも、充分御注意を!

池谷 浩

MENU

1. 建設省砂防部長より 1
2. SABO NEWS LETTER について～市町村長の感想～ 3
3. 第3回今後の砂防事業のあり方に関する検討委員会 4
4. 第3回災害弱者関連施設に係る連絡調整会議 . . . 5
5. 第3次補正予算 6
6. 工事安全対策研究発表会 7

当面の行事予定

- 12 / 21 (月) 平成11年度予算大蔵原案内示予定
- 12 / 22 (火) 総合土砂災害対策担当者会議 (東京都)
- 12 / 25 (金) 平成11年度予算案閣議決定予定

その他

12月21日から24日までの4日間、予算対応のため上京される皆さんの控え室 (シェーンバツハサボ ← 3階「霧島」) を用意していますのでご利用下さい。

SABO NEWS LETTER について ～市町村長の感想～

前回にひきつづき、SABO NEWS LETTER をご愛読いただいている各地の市町村長さんからのご感想・ご意見をご紹介します。

- ・ 「 SABO NEWS LETTER を毎号感慨深く拝読しております。毎年のように豪雨や台風などによる土砂災害の発生により、尊い人命や貴重な財産が失われております。非常に残念な思いでございます。

砂防ニュースレターにより、国における砂防関係の動向や、全国の災害等の情報をより身近に知ることができ、大変有り難く思っております。今後も情報の提供をお願い致します」

神奈川県 南足柄市長 鈴木 佑

- ・ 「長野県のような厳しい自然条件をかかえる地域としては、砂防を取り巻く諸情報や協会からのお知らせを的確にいただけることは非常に有り難く思っております。会員の一人として行政関係者がまず本紙を必ず読みたい、そして活用したいという様な紙面であるようにお願いします」

長野県 坂北村長 青柳 晃夫

第3回今後の砂防事業のあり方に関する 検討委員会について

「今後の砂防事業のあり方に関する検討委員会では、経済・社会の変化に対応した的確な砂防事業を実施していく必要があるため、効果的かつ効率的な事業の実施方策についての検討を行っています。

平成10年11月19日（木）に、第3回目の委員会が開催され、国・地方・住民等の役割分担、安全で安心できる国土の形成についての中間とりまとめ（案）に関する活発な議論がなされました。（議事要旨参照）

1. 日 時 平成10年11月19日（木） 10:00～12:00

2. 場 所 通商産業省別館901号会議室

3. 出席者

（委員） 武居委員長、伊藤委員、今井委員、碓井委員、太田委員、黒澤委員、笹山委員、田村委員、中村（二郎）委員、中村（三郎）委員、平山委員、廣井委員、松林委員
（事務局） 青山河川局長、吉井河川局次長、池谷砂防部長ほか

4. 議事要旨

事務局から「今後の砂防事業のあり方について」（中間とりまとめ（案））について説明の後、質疑応答が行われた。委員からの主な意見は次のとおり。

〈役割分担を検討するにあたっての視点について〉

- 河床土砂の変動は、小さいものなら溪流の生態系の保全に資するものであることに留意すべき。

〈国と地方等の果たすべき役割について〉

- 国の役割の中では、地方とのパートナーシップを考慮すべき。
- 国は、砂防だけではなく、流域全体として総合的に企画・立案、調整を果たすべき。
- 国はハードだけでなく、災害弱者対策などソフト的なものも砂防の骨格として取り組むべき。
- 地方の役割として、地方が責任をもって地域の安全を図るものであることを明確にすべき。
- 地方の役割には、緑豊かな環境の創出とともに、災害後の緑の復元を住民の参加を得て行うことが期待される。

〈直轄砂防事業について〉

- 砂防法、地すべり等防止法に定める直轄事業の要件、事業の採択基準が妥当なものであることを、委員会として評価すべき。

第3回災害弱者関連施設に係る連絡調整会議の開催について

平成10年12月11日（金）に災害弱者関連施設に係る連絡調整会議が、建設省、文部省、厚生省、林野庁、消防庁、国土庁の担当者（官、補佐クラス）の出席のもと開催されました。（国土庁はオブザーバー参加）

会議では、緊急点検結果を踏まえ土砂災害に関する情報等を早期に施設管理者へ通知すること等、ソフト対策を推進していくことが確認され、今後は、各省庁共通の取り組み施策を都道府県等に対して共同通達することとしています。

第三次補正予算について

平成10年12月11日、第三次の補正予算が国会を通過し砂防関係事業としては、早期の施設完成と整備効果発現に資するため、災害弱者関連施設等保全緊急土砂災害対策の推進、土砂災害危険箇所緊急解消対策の推進等（以下参照）に約1,470億円の予算が認められました。

災害弱者関連施設等保全緊急土砂災害対策の推進

平成10年9月に都道府県や市町村の皆さんの協力を得て実施した緊急点検結果を踏まえ、病院、障害者施設、老人ホーム、幼稚園等の災害弱者関連施設を保全対象に有する土砂災害危険箇所において砂防ダム等の施設整備を緊急的に実施するとともに、土砂災害の危険性が高く避難を繰り返している地区や地域住民が常に点検に参加している地区において砂防ダム等の施設整備を緊急的に実施します。

土砂災害危険箇所緊急解消対策の推進

平成10年3月に都道府県や市町村の皆さんの協力を得て実施した土砂災害緊急総点検により緊急的な防災対策が必要な土砂災害危険箇所のうち、崩壊地直下に人家があり、新たなクラックや湧水の実績等、災害の危険性の予兆がみられる緊急対応箇所について砂防ダム等の施設整備を緊急的に実施します。

平成10年度（第1回） 工事安全対策研究発表会開催について

12月5日、長野県北安曇郡白馬村の多目的ホールにおいて、「平成10年度（第1回）工事安全対策研究発表会」（北陸地方建設局松本砂防工事事務所の工事安全対策協議会主催）が約200名参加のもと開催されました。

この発表会は、平成8年12月6日の蒲原沢土石流災害（死者14名）の教訓を活かすため、砂防工事等に従事する管理技術者や現場代理人、および専門的な知識を持った人々の、安全対策に関する意見交換の場として企画されたもので、論文募集には、松本砂防工事事務所管内の工事現場担当者から計30編の作品が応募され、研究発表会ではこのうち6編の作品が発表されました。

また、発表後行われた審査会の結果、最優秀賞は（株）守屋商会・小山正隆さんの「浦川下流床固工群における土石流に対する安全対策について」。以下（株）後藤組・榊原伸一さんの「砂防工事における未来の土石流対策への第一歩」、戸田建設（株）・水木秀雄さんの「遠隔操作システムを用いた砂防工事の安全対策」の2編が優秀賞に、（株）伊藤組・千邑敏紀さんの「大ゴ沢第1号砂防ダム工事における土石流安全対策について」、（株）傳刀組・老野裕介さんの「浦川下流第1号砂防ダム災害復旧工事における土石流の安全対策について」、（株）間組・清水公さんの「島々谷第6号砂防ダム資材運搬道路トンネル工事における安全対策について」の2編が奨励賞に、（株）笠原建設・小林安浩さん、川瀬建設（株）・川瀬雄一さん、（株）北野・倉科元一さん、小松建設工業（株）・中島文敏さん、（株）相模組・西澤邦彦さん、松本土建（株）・熊谷久さん、（株）峯村組・大日方紀一さんの7名の作品が努力賞に選ばれました。

松本砂防工事事務所工事安全対策協議会では、工事安全対策研究発表会を平成11年以降も毎年開催することとしています。